学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを
生涯の誇りにできる生徒の育成
１１月号 令和元年１１月１５日

狛江市立
狛江第一中学校

狛江市和泉本町２－１５－１
TEL 03（3480）0121

自分の将来を考える

校長　吉田　知弘

先月25日(金)の合唱祭並びに、先週末のロードレースにはたくさんのご来賓、保護者、地域の皆様方にご来場いただき、誠にありがとうございました。皆様方の温かなご声援に生徒たちも心を強くしたことと思います。日頃の練習成果や自分の限界に挑戦し一生懸命頑張る生徒の姿をお目にかけられたことを嬉しく思います。ご多用の中、応援やボランティアとしてご参会くださいました皆様方に改めてお礼申し上げます。

さて話は変わりますが、生徒にとって自分の将来を考えること、例えばどのような生き方をするか、どのようなことをするか、どのような職業につくかなどを考えることはとても大切なことです。保護者の皆様にも我が子の将来のことですから関心は高いと思います。

日本ではここ数年来、中・高生や若者の意欲減退が話題となり、危惧される状況です。勉強すれば、あるいは努力すればできるようになるはずなのに取り組もうとしない。少し古くなってしまいましたが、ニート問題など若者が社会とかかわろうとする意欲に低下が見られる現象もあります。そこで、学校では「学ぶこと」「働くこと」の意義や必要性を実感させることが大切だと考えています。本校では今年度、生徒に自らの将来の生き方を考えさせ、夢を持たせるために、本物を見せ、聞かせ、感じさせ、体験させる「本物に触れる教育」に取り組んでいます。修学旅行や職場体験などの校外での活動はもちろんですが、狛江市選挙管理委員会から本物の投票箱や投票記載台をお借りして生徒会役員選挙を行ったり、外部講師をお招きして陸上教室や職業マナー講座を行ったりもしています。また、日常の授業においても、本物の草花を使った実験を行う、模型を使って説明する、辞書を使って実際に調べさせるなども行っています。

生徒には、「本物を見て」あるいは「その道のプロからお話を聞いて」、「すごい」「さすが」と感動し、そこから夢を持つことの大切さや、それに向かって努力していくことの大切さを実感して欲しいと願っています。

２年生はいよいよ再来週、職場体験を行います。本物に触れる３日間の経験をこれからの学校生活や自分の生き方に活かしていってくれることを期待しています。

１０月２５日（金）第１８回　合唱祭（エコルマホール）

平成 31 年度合唱祭を無事に終えることができました。生徒たちは、この日のために一生懸命に練習に取り組み、どの学年、どのクラスも本番で最高の合唱、演奏を披露してくれました。まさに『笑唱笑勝』のスローガンのとおり、クラスで合唱を作り上げていく楽しさを感じ、その力を出し切って笑顔で歌うことができた合唱祭だったと思います。

（合唱祭担当教諭　北島　直翔）

１０月２８日（月）３年生、２９日（火）２年生、オリンピアによる長距離走の授業

パナソニック陸上競技部コーチでロンドン五輪陸上中長距離日本代表吉川美香さんによる長距離走の授業を行いました。この取り組みも３年目を迎え、授業の内容もよりレベルが上がってきました。今回は理想のフォームやリズム、早く走るための動きづくりとしてトロッティング・バックキック・バウンディングなど、普段なかなか取り組むことがない練習方法を教えていただきました。また、３年生は変化走というペースを変えて走るトレーニングも行い、ペースを守って走ることが大切であることを身を持って学ぶことが出来ました。１１月８日のロードレース本番に向けて真剣な姿勢で授業を受けていました。

１１月８日（金）第１１回多摩川全校ロードレース大会

秋晴の中、最高のコンディションで大会が行われました。陸上の授業でもお世話になったロンドン五輪陸上中長距離日本代表吉川美香さんにもゲストランナーとして３年生女子と一緒に走って頂きました。今年度も、伴走や安全確認など、地域、保護者の皆さんにご協力いただき盛大に大会を終えることができました。

一中生頑張ってます！

「税についての作文」コンクール

狛江市教育長賞　３年　川畑　さん　立川都税事務所長賞　３年　川村　さん